経大腿動脈心臓カテーテル検査・治療クリニカルパス

患者名　　様

<table>
<tr><th></th><th>カテーテル前日　／</th><th>カテーテル当日　／</th><th>カテーテル翌日　／</th></tr>
<tr><td>観察</td><td>・足の甲の脈の触れをみます
・足先の温かさをみます</td><td colspan="2">検査後は、以下の事を観察します
・カテーテルを入れたところの出血はないか
・足の甲の脈が触知できるか
・足先が冷たくないか
・気分不快感はないか</td></tr>
<tr><td>安静</td><td>・病院内であれば制限ありません </td><td colspan="2">＜検査終了＞　　＜医師診察＞　　＜看護師確認＞
＜絶対安静＞　およそ6時間　　＜床上安静＞およそ4時間　　歩行できます
・ベッドでねたまま足を曲げることが出来ません　　・ベット上で起き上がれます　　（範囲は看護師が説明します）
・排尿用の管・便器・尿器使用　　・排尿用の管・便器・尿器使用
※絶対安静・床上安静時間は目安です。カテーテル後、時間を説明します</td></tr>
<tr><td>食事</td><td>・持ち込みの食事はしないでください</td><td colspan="2">検査時間と食事の有無・摂取方法は以下の様になります
<table>
<tr><th>検査予定時間</th><th>朝食</th><th>昼食</th><th>夕食</th></tr>
<tr><td>1・2番目の方</td><td>検査後に軽食</td><td>寝たまま介助</td><td>医師の診察後ベッド上で食事</td></tr>
<tr><td>3・4番目の方</td><td>軽食</td><td>寝たまま介助</td><td>医師の診察後ベッド上で食事</td></tr>
<tr><td>午後の場合</td><td>普通食</td><td>検査後に軽食</td><td>寝たまま介助</td></tr>
</table>
・検査前の薬は少量の水で飲んでください
それ以降は、検査終了まで控えてください
・ベッドに寝たままの状態が続くので、飲水できるようにストローを用意して下さい。 </td></tr>
<tr><td>清潔</td><td>・除毛後に入浴できます </td><td>・入浴はできません</td><td>・シャワー浴ができます
・入浴開始時期は、医師の指示にて開始になります</td></tr>
<tr><td>排泄</td><td></td><td colspan="2">絶対安静・床上安静の間は、尿器便器を使用、または排尿用の管を挿入し、ベッドの上で行います</td></tr>
<tr><td>処置</td><td>・足の付け根を除毛します
・足の甲にマジックで印をつけます
・点滴を挿入します</td><td colspan="2">・医師が針を刺したところの出血の有無や腫れの有無などを確認します
・治療を行なった場合はモニター心電図を装着します</td></tr>
<tr><td rowspan="2">薬物療法</td><td colspan="3">クリニカルパスの期間中、薬の変更がある場合があります</td></tr>
<tr><td>・持参薬とお薬手帳を提出してください
内容を確認し、医師の指示する薬を内服してください 
・21時から点滴を始めます</td><td colspan="2">・血糖降下剤は、検査後に内服、または中止です
・インスリンの注射は単位数が減る、または中止となる事があります
・翌日の朝、医師の診察後針を抜きます </td></tr>
<tr><td>説明</td><td>・医師・看護師が検査の説明をします
・検査の同意書の確認をします
・検査に必要な持ち物の確認をします
・T字帯を用意してください </td><td colspan="2">・検査室へ行く前に以下のものを外してください
（眼鏡・コンタクト・時計・ピアス・義歯・指輪・ネックレス・ヘアピン・化粧下着・靴下・マニキュア・補聴器など）
・検査室へ行く前にトイレを済ませ、病衣、T字帯に着替えてください
・医師の指示がある場合は排尿用の管を挿入します
・検査後、医師から検査結果についての説明があります
（冠動脈の狭窄の程度、前回検査からの変化・心臓の動きの様子・今後の治療方針）
・看護師から退院後の生活について説明があります（カテーテル後）
（食事について・入浴について・受診の目安についてなど）</td></tr>
<tr><td>指導</td><td>入院診療計画書をお渡しします</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>目標</td><td>心臓カテーテル検査が安心して受けられる</td><td>・検査後の合併症（穿刺部の出血・造影剤アレルギーの出現など）が早期に発見され、対処される</td><td>退院後の生活注意点が理解できる</td></tr>
</table>

※病状・症状によってはスケジュール通りにはならない場合があります

2002年12月（2026年8月改訂）パス委員会承認　聖隷浜松病院　A3 病棟